

P B L

【単位数:1.5単位、授業20コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-7-c, I-8-c, II-1-c, II-2-c, II-3-c, II-5-c, III-1-c, III-3-c, III-4-c, III-8-c, III-9-c, III-10-c, V-5-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム(生涯学習・自己啓発・自己管理)」、「コミュニケーション」、「医学知識と科学的探究心」について、グループワークを通して、その意義を理解する。
- ② グループワークを通して、他者との協働や情報収集のためのコミュニケーションを身につける。
- ③ 与えられたトピックに対して、自身の考えを述べ、グループ内での議論を通して論理的な思考を身につける。

(2) 学修目標

- ① グループ学習を通し、能動的学修の意義と自己の課題を説明できる。
- ② 「話す」「聴く」「伝える」ために必要なコミュニケーションスキルを説明できる。
- ③ ICTを使用して与えられた課題を調べることができる。
- ④ グループ内で役割分担をし、円滑に議論を進めることができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	—	提示した課題に対するレポート
態度	○	—	グループ学習の参加度(役割遂行)の自己評価、他者評価

出席：単位を修得するためには、欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

すべての評価対象において、不可がないこと(合否の2段階判定)。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

演習を欠席した場合は、面接後、補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各演習時に、その都度全員にフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
指定なし			

6 準備学習（予習・復習）

グループ内での役割分担で自身の担当分に関して、情報収集など準備をする（毎日1時間）。

7 授業計画

(1) 講義の方法

講義室での全体説明とセミナー室でのグループワークを行う。

(2) 講義の内容

提示した話題について、グループ内で議論を行い課題解決の案をまとめプレゼンテーションを行う。